はじめまして

～同級生との再会を通じて～

高橋 真希

春めいて参りまして、気持ちも明るくなってきました。

先日のスライド会後、新年会に初めて参加させて頂き、個性的な方々との出会いにとても楽しい時間を過ごさせて頂きました。その際、皆様にご挨拶が行き渡っておりませんので、ここで自己紹介を失礼致します。

私は品川に生まれ永福町や王子に住んでおりましたが、中学高校と京成大久保から徒歩 20 分の学校へ通学することとなり、６年間通っておりました。保田育ちの母親の影響もあり幼少の頃から房総には時々来ておりました。スポーツが得意で、ハンドボール部に入らされることとなり学校が強かったので、本格的に勉学とは遠のいていきました。

そんな中学一年のスタート時、今回一緒に入会した須藤博文くんとは同級生でした。彼はとても変わっていました。思春期なのもあったのでしょう。常に何かに怒っていてロッカーをパンチしてるかと思えばはしゃいでいたり、友達とけんかをしていたと思ったら、猫を抱っこしていたり、数学で先生を論破していたり、研ぎ澄まされたかのような繊細さがあったり…と何しろ不思議な人でした。

嫌なことがあると、ガーッと自転車をひとりで漕いで、気がついたら日本海、東北といったこともしょっちゅうなようでした。親御さんは心配したと思います。そんな彼が今では子供の野球からの帰りを心配して送り迎えしています（^-^）。

高校卒業後、彼がアメリカへ行ったことも知りませんでしたが、お互い人生を四苦八苦しながらなんとか大学へ行き、社会人になり、それなりの大人に成長？しました。

私は製薬会社で働くこと 20 年。仕事に明け暮れていた３年前、最近でいう SNS、Facebook などの普及もあり、ふと同窓会の連絡がきました。30 年ぶりに会う仲間達にかなりの不安を感じながら船橋の飲み屋へ。

そこには変わったような変わらないような、みんながいました。須藤君がしっかりした大人になっている！英語が嫌いだった人が、英語・スペイン語までベラベラになっている…驚きでした。

そんな再会から山や自転車に詳しい彼に指南してもらい健康の為に身体を動かすようになり、どうせ山に行くならと、お互い興味のあったきのこの話を出したのが入会のきっかけです。

去年筑波のきのこ展に出向くと近くで自然のノウタケ、キタマゴタケ、ヤマドリタケモド

キなどを発見できたことで更に火がつき、また Facebook にキノコのコミュニティーがあることを知りそちらを読んでいると、変わったキノコを採集した人に「それは千葉菌に持って行ったほうが良い」などと書いてあったことで、早速ネット検索しこの談話会の存在を知ったのです。

そんな折 TV で、食べられるキノコを沢山発見しないと帰れないというテーマの番組を見ていた時、吹春さんが出演されていて、(吹春さん検索)をしたところ、千葉菌類談話会！と書いてあり、すべてが繋がってしまいました。

稲毛在住の私としては入会したい気持ちが膨らんでしまい現在に至る訳です。

新年会で初めてお会いした吹春さんは TV と同じく優しく楽しい感じの方で、会員の方のお名前やバックグランドを沢山覚えられていて、ご紹介下さった事にとても驚きました。千葉中央博の企画展「きのこワンダーランド」で入会させて頂いた時に、私達のきのこ質問にすごいレスポンスで答えて下さった女性の方を「あの人はすごいんだよ。僕はそのおかげてやれている」と教えてくださったその方が奥様なんだなぁという事も分かりました。

きのこ観察会が早くやってこないかな、またこの前のような打ち上げがないかなと日々待ち望んでおります。

あの時千鳥足でお帰りになったおじいさまは無事でしょうか？(笑)心配です。

最後に筑波で発見したきのこの写真を羅列します。

今後は顕微鏡でミジンコやゾウリムシではなく、ぜひ胞子を見てみたいと思っております！

今後ともご指導宜しくお願い致します。

キタマゴタケ

タマゴタケ

ヤマドリタケモドキ

❐

■ 2018 年度 日本菌学会菌類観察会（島根フォーレ）のお知らせ

来る 2018 年 9 月 22 日（土）～24 日（月・祝）、2018 年度日本菌学会菌類観察会が島根県の三瓶山において行われます。この観察会（フォーレ）は、日本菌学会の幅広い分野の菌類研究者より多くの知見を得られる、このうえない機会です。参加募集は 70 名で、全国のアマチュアきのこ愛好家も参加できます。詳細は、日本菌学会ホームページをご覧ください。